

釧路南ロータリークラブ会報

第9回 例会報告 2010.9.3 通算1363回

・点 鐘 木内会長 ・会長挨拶

・ロータリーソング
「君が代」「奉仕の理想」



ソングリーダー 福井 克美会員

・結婚祝
原田 眞則会員 S51.9.5 (34年目)



前週分慶祝 山本美穂会員



会員の皆様こんにちは、9月第一例会ですが、例年だと秋風が吹き、肌寒く感じる時期ですが、夏が戻ってきた感じがします。

先日の新聞で、秋アジの定置網にブリが入り海流の流れがもたらしたいたずらかもしれませんがブリは北海道の日本海側と襟裳が北限とされてきましたが、今回は日本海側から稚内、オホーツクを抜けて、羅臼、根室を回遊して来ているようです。暖流の魚ですからメジマグロ（黒マグロ、本マグロの子供）も一緒に回遊しているはずですよ。

私も8月22日（日曜日）鴨とり権兵衛の杉本さんの船でいか釣りを初めて経験し3人で300以上を釣り上げ、イルカや鮫にも遭遇し楽しい一日を過ごしました。

話は変わりますが、韓国の友好クラブのSE晋州ロータリークラブより文書が届いております。

この件につきましては、理事会にて協議し、会員にご報告いたしますので。

以上会長挨拶とさせていただきます。

・幹事報告



みなさんこんにちは、幹事報告をさせていただきます。

先週はわたしの不手際によりプログラムの準備が整っていませんでした。大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。先週の理事会でプログラムの変更がありました。すでに皆さんのところにファックスが届いていると思いますが確認のためご案内いたします。本日はポリオ撲滅説明会となっております担当は環境新世代委員会。次週は観楓会例会となっております担当は親睦委員会となっております。日にちが9月11日(土)12日(日)の1泊川湯温泉旅行となっております。

再来週9月17日は会員ミニ卓話となっております担当はクラブ会報委員会。第4週目9月24日は夜間例会(18:30)クラブフォーラムとなっております、担当は奉仕プロジェクト委員会となっておりますので各担当委員会はよろしく願いいたします。また一部日程が変更されておりますのでお間違い無いようお願いいたします。

次に、浜中、釧路ベイ、釧路北、釧路東、釧路西の各ロータリークラブより9月の例会プログラム及び会報、月報を拝受しております。

次に国際ロータリー第2500地区より職業奉仕委員会に職業奉仕アンケートが届いております。これは後ほど職業奉仕委員長にお渡ししますので対応をよろしく願いいたします。

次に東京優芳園株式会社様より奉仕活動推進用広告入り花の種子のご案内がきております。広告入りの

花の種を入れる袋のサンプルがあります。回覧しておりますので是非ご覧ください。

9月6日(月)PM6:30より全日空ホテルにて第3回会長・幹事会がありますので会長と行って参ります。

最後に親睦委員会からもご案内があると思いますが次週は観楓会例会となっておりますので沢山の方が出席していただきますようお願いいたします。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

原田 眞則会員 結婚祝として

山本 美穂会員

出席委員会

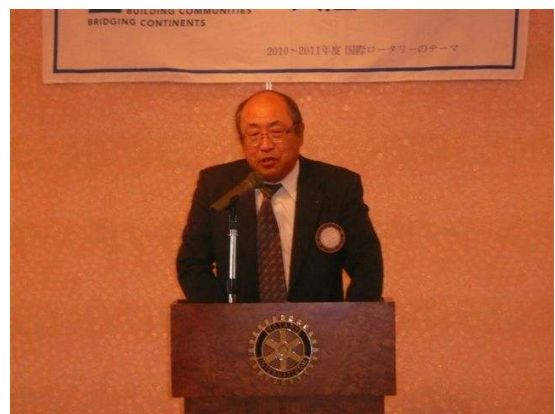
会員25名 15名出席 出席率60%

・本日のプログラム

「ポリオ撲滅説明会」

担当 環境新世代委員会

■安藤環境新世代委員長



《ポリオとは何》

ポリオウイルス(急性灰白髄炎)を発症し身体麻痺の後遺症をもたらす、時として命さえも奪う伝染病に冒されます。ポリオは身体を麻痺させ、時には死に至らしめる事もあります。治療法のないポリオに

対する最善の対策は予防です。わずか米貨 60 セン
トのワクチンで一人の子供を身体の自由を奪うこの
疾病から一生守ることが出来るのです。

ポリオ感染後、数時間のうちに麻痺症状を引き起こ
すケースもありますが、後遺症による麻痺障害を治
療で治すことはほとんど不可能です。最も深刻な症
状では、ポリオウイルスが脳幹の運動ニューロンを
侵し、呼吸困難や死亡に至るケースさえあります。
過去には、ポリオは、身体障害の最大の原因となっ
ています。

ポリオが撲滅されなければ、世界中の人々はこの病
の脅威に怯えながら暮らし続けることになりま
す。世界が 50 億ドルを投資したこの撲滅活動が成
功しなければ、今後 40 年間に 1,000 万人以上の子
供が身体障害を患うことになるかと推測されます。

(ポリオの歴史)

1350 BC

エジプトのヒエログラフに最初のポリオの記録が残
されている。

1954 年

ジョナス・ソーク博士により、不活性ポリオワクチ
ンが初めて発表される。

1961 年

アルベルト・サビン博士の経口ポリオワクチンの使
用が認可される。

1979 年

国際ロータリーとフィリピン政府が共同で、フィリ
ピンの 600 万人の子供たちにポリオの予防接種を行
う 5 年活動を開始する。

1985 年

ロータリーが、公共保健推進計画の民間部門支援と
して世界初、しかも最大規模となる「ポリオプラス」
を開始し、1 億 2,000 万米ドルの寄付を約束する。

1988 年

それから 3 年以内に、ロータリアンは当初の寄付目
標を 2 倍も上回る 2 億 4,700 万米ドルをポリオ撲滅

に寄付する。

ロータリーの活動が一部きっかけとなり、世界保健
総会が 2000 年までにポリオを撲滅するという決議
を採択し、世界ポリオ撲滅推進計画の発足への道を
開く。世界ポリオ撲滅推進計画は、国際ロータリー、
世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、米国疾病予防セ
ンター (CDC) が主導団体となって推し進めている。

1994 年

西半球がポリオ無発生地域と宣言される。

1995 年

中国とインドにおいて、わずか 1 週間で 1 億 6,500
万人の子供に予防接種が行われた。

1996 年

ポリオのない国として宣言された国の数が 150 カ国
となる。ポリオ発生件数は、1988 年と比べて 85%
減少。

2000 年

西太平洋地域がポリオ無発生地域と宣言される。

2004 年

西アフリカと中央アフリカの 23 カ国において 8,000
万人の子供を対象とした一斉全国予防接種日が行わ
れ、アフリカ大陸における一斉予防接種活動として
最大の規模となる。

2006 年

歴史上、ポリオ常在国の数が最少を記録する (ナイ
ジェリア・インド・パキスタン・アフガニスタン)。

今後

ポリオ撲滅のため国際ロータリーは撲滅活動を最優
先に支援する。ロータリー会員はポリオ撲滅運動基金
に一人 2000 円を毎年拠出している。

(ロータリーポリオプラスプログラム)

ポリオプラスのきっかけとなったのは、国際ロータ
リーとフィリピン政府が 1978 年にフィリピンの児
童にポリオの予防接種を実施したプロジェクトです。
目を見えた成果を上げたうえ、ポリオの予防接種が
可能だということが明らかになりました。ジョナ

ス・ソーク博士が 1953 年にポリオワクチンを開発しました。さらに 1954 年にアルバート・セービン博士は経口生ワクチンを開発しました。その結果、1950 年代後半と 1960 年代前半は、数百万人の学齢前の児童に対する地域レベルの予防接種が世界の多くの先進国で行われました。

しかし、1980 年当時ではこの障害をもたらす疾病に対し予防接種を受けたのは世界の児童のわずか 20 パーセントに過ぎないと推定されました。問題はワクチンの費用と輸送です。

ほとんどの開発途上国は、国内の児童に予防接種するのに必要なワクチンの量を確保できないし、また、ワクチンを必要とする人にワクチンを届ける確かな方法も持っていませんでした。フィリピンのプロジェクトで、ポリオと闘う戦略が開発され、計画実施に必要な諸準備が整えられました。ポリオプラスが誕生したのです。多くの成果が続きました。

ポリオプラスはロータリアンとその友人家族の心をつかみました。

財団は当初の目標の米貨 1 億 2000 万ドルの 2 倍の金額を集めました。ロータリーは 1991 年末までにポリオワクチンを希望する全開発途上国にワクチンを 5 年間提供するという当初の目標を達成しました。世界からポリオ撲滅する大きな一歩は 1994 年 9 月に記されました。ポリオ撲滅証明国際委員会が西半球においてポリオウイルスの伝播を打ち破ったと宣言したのです。

ついで 2000 年には西太平洋地域 2002 年にはヨーロッパ地域でもポリオ撲滅が証明されました。2002 年 4 月より 8000 万ドルの募金キャンペーンがスタートしました。

日本の場合は誓約で 3 年間に 1600 万ドル集める事を目標としていましたが少し目標を下回り 1518 万ドルを集めました。

2003 年 5 月 31 日に世界保健機関国際ロータリー米
国疾病予防センター、ユニセフを中心に「ポリオ根絶計画」主要パートナーは 2005 年までにポリオを

根絶するための戦略を変更することを発表しました。新しい戦略の特徴はポリオ発生が報告されていない 93 カ国で実施されている予防接種キャンペーンを修正してポリオの発生が報告されている 7 カ国（インド・パキスタン・ナイジェリア・エジプト・アフガニスタン・ニジェール・ソマリア）と危険が残る 6 カ国（アンゴラ・パングラデッシュ・コンゴ民主共和国・エチオピア・ネパール・スーダン）にこれまで以上の資金を投入し重点的な活動をするにありま

す。
2004 年 1 月 15 日ポリオ発生国の諸大臣がポリオ撲滅のためのジュネーブ宣言に調印しました。

この時点でソマリアがポリオの発生 0 となりポリオ発生国は 6 カ国に減りました。ところが 2004 年 9 月の国連発表ではナイジェリアからサハラ以南の国へポリオ感染が広がっておりポリオ根絶のための活動は脅威にさらされているということです。

これはナイジェリアで予防接種活動が実施できなかったことによりナイジェリア周辺国にポリオが伝播したためです。

2005 年 1 月 1 日から 2006 年 2 月 7 日までの症例数は 16 カ国 1906 件です。ですが 2006 年 2 月にはエジプトがポリオフリーとなりニジェールの野生株がなくなり輸入されたウイルスのみとなったためポリオ発生国は 4 カ国に減りました。（ナイジェリア・インド・パキスタン・アフガニスタン）



・ 次回のプログラム

9 月 11 日（土）

「観楓会例会（家族同伴）」夜間移動例会

会場 川湯御園ホテル

担当：親睦活動委員会

・ 点 鐘 木内会長

今週の会報担当：長倉巨樹彦会員